

愛知県岡崎市

テーマ: 公共空間から始まる民間主導の公民連携まちづくり



市域面積：387.2km²
 岡崎市 人口：386,252人
 (R3.1時点)

【立地適正化計画】
 平成29年3月公表（都市機能誘導区域）
 平成31年3月公表（居住誘導区域）
 【都市再生整備計画（滞在快適性向上区域）】
 令和3年4月公表予定

○ 公民連携まちづくり「**QRUWA戦略（※）**」として、ウォーカブル区域内の拠点間の回遊の誘導、街路空間の活用における**エリアマネジメントの推進**、かわまちづくりにおける民間事業者による**コンテンツの提供等の実施により、民間主導の稼ぐ力の活用に向けた環境を整備するとともに、イベント時の密の回避を目的としたICTの活用等、「新たな日常」にも対応した賑わいのある空間を創出する。**

※公共空間各拠点を結ぶ約3キロのまちの主要回遊動線（QRUWA：クルワ）を実現させ、公民連携プロジェクトによりまちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図る戦略。

ハード事業

○街路空間の活用
 道路占用特例区域・都市利便増進協定により、都市再生推進法人による**エリアマネジメント**を実現。沿道店舗・住民と一体となった**日常的な歩道空間活用による通りの活性化**を図る。
 (例) 歩道空間オープンテラス化、情報発信板等の常設運営など

ソフト事業

○公園緑地の活用（パークマネジメント）
 籠田公園への常設的な店舗等を誘導し、**公共空間内に留まらない新たな創業と公園の利便増進**、また**地下の市営駐車場と一体の指定管理によるマネジメントを導入し、継続的な公共空間活用と周辺エリアへの波及・民間投資誘導**を図る。

ハード事業

○高質空間形成施設（プロムナード）
 居心地がよく歩きたくなる空間整備のため、主要回遊動線におけるプロムナードの整備、歩行者系案内サインの設置やバリアフリー対応トイレなど街で過ごしやすい機能の充実。

ハード事業

○PPP活用拠点形成事業
 市有地を活用し、河川空間との連携を図り、**エリアの交流及び回遊の拠点となる複合施設を民間で一体的に形成。**

ハード事業

○スマートシティ（ICTの活用）
 3D-LiDERによる**公共空間での集客時の密のコントロール**、アプリを活用したサイクルシェアによる回遊促進、人流属性推定カメラデータを用いたストリートブランディングなど**新たな日常に対応したサービス提供。**

ハード事業

○かわまちづくり（河川・公園緑地の活用）
 規制緩和により、**河川空間での民間事業による観光船、SUPやナイトマーケット、キャンプ、などオープンな空間での様々なコンテンツを提供。**

凡例：● 事業実施箇所 ● 地区範囲
 — ウォーカブル区域



QRUWA上の公共空間の民間事業活動日数
 民間事業の活動日数を増加基調に
 (従前値) 204日/年 (令和元年)
 → (目標値) 300日/年 (令和7年度末)

QRUWA上の路線価
 5年後までに対象エリアの路線価を
1㎡あたり300円増加基調に
 (従前値) 110.0千円/㎡ (令和2年)
 → (目標値) 110.3千円/㎡ (令和7年)

地区中央部の橋梁（歩道、人口橋）の往来数
 往来数を5年後までに増加基調に
 (従前値) 6,405人/日 (令和2年)
 → (目標値) 7,200人/日 (令和7年度末)